

経営計画説明会を開催

初の売上10億円超えで決意新たに

室蘭・住まいのウチイケ

(株)住まいのウチイケ(室蘭市、内池秀光社長)は、6月22日、中嶋神社蓬峯殿で2018年度経営計画説明会・安全大会を開催、協力業者など関係者役90名が出席した。

2017年度の売上高は、新築が7.2億円、リフォームが1.2億円、公共工事が1億円、造成が1.6億円で、創業以来初めて目標としていた10億円を突破、11億207万円となったと報告。

同社はUA値0.15Wの企画住宅「ecohouse ZeRo」を中心に、ヴィンテージ・アメリカンデザインで光熱費ゼロ仕様の苦小牧モデルハウスも好評。現在は契約済16件、申込み済み20件と、その他商談中の案件も含めて受注状況は過去最高だという。

今後の展望について内池秀光社長は、法人事業グループの設置による公共工事の受注拡大、工事グループの人員増強による現場工程管理の強化、大工の新規採用などに加え「住宅建築単独での売上10億円超え、4年連続で特別優秀賞・技術賞・優秀企業賞受賞を受賞したハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジーの大賞受賞を目指したい」と決意を述べた。

講演会では東京大学の坂本雄三名誉教授が「住宅の省エネ・環境技術の動向」と題し講演。全国的にはZEH住宅が、平成29年で補助金により約7600棟建設され、補助金を使っていないZEH住宅も含める



講演する坂本氏



壇上で新入社員を紹介する内池社長(左)

と年間で2万棟近く建ち、住宅の省エネ化が進んでいること、太陽光発電の設置コストが安くなったことで平均6.6kW設置されている」と述べた。また住まいのウチイケに関しては「UA値0.15Wの住宅は全国でもトップクラス。床チャンバー方式で一台のエアコンによる住宅全館空調を行い、快適で省エネな住宅が実現できている」と評価した。